

25年センター試験確定志願者数は、前年より 1万7,807人(3.2%)増の57万3,344人!

現役2年ぶり増加、既卒2年連続減少。現役志願率42.1%で過去最高。

旺文社 教育情報センター 24年12月

大学入試センターはこの程、25年1月19・20日に実施される25年センター試験の確定志願者数を発表した。志願者数は57万3,344人で、24年より1万7,807(3.2%)増え、2年ぶりの増加となった。現役生と男子は2年ぶりに増加したが、既卒者は2年連続減少。女子は5年連続増加した。

都道府県別では、93.6%に当たる44都道府県で増加し、減少したのは島根・山形・徳島の3県に限られる。23年3月の東日本大震災や原発事故で被災した岩手・宮城・福島の東北3県の出願状況は、宮城6.0%増、福島2.2%増で、岩手は2人増に留まった。

現役志願率は24年より0.5ポイント上回る42.1%で、停滞状態から過去最高に転じた。

●志願者数 573,344人(555,537人；17,807人増、3.2%増)

<内 訳>

○高校等卒業見込者(現役生) 459,866人(439,713人；20,153人増、4.6%増)

○高校等卒業生(既卒者) 107,709人(109,748人；2,039人減、1.9%減)

○「高認」合格者・その他 5,769人(6,076人；307人減、5.1%減)

○現役志願率 42.1%(41.6%；0.5ポイント上昇)

○男女別

① 男子 324,200人<56.5%>(316,957人<57.1%>)

② 女子 249,144人<43.5%>(238,580人<42.9%>)

○都道府県別(出身高校等別による)

① 志願者数が増加した主な都府県

石川(8.1%増)／大阪(6.2%増)／宮城(6.0%増)／大分(5.8%増)／岐阜(5.3%増)／神奈川(5.2%増)／富山(5.1%増)／愛媛(5.0%増)／宮崎(4.7%増)／千葉(4.5%増)／岡山(4.5%増)／東京(4.0%増)／栃木(4.0%増)／香川(3.7%増)等

② 志願者数が減少した3県

島根(6.0%減)／山形(3.7%減)／徳島(0.9%減)

③ 現役志願率の高い主な都府県

東京(52.7%)／広島(51.9%)／愛知(51.9%)／富山(51.3%)／石川(48.6%)／山梨(47.7%)／群馬(45.7%)／島根(45.7%)／福岡(45.0%)／静岡(44.4%)／徳島(44.1%)等

○成績開示希望別

① 開示希望者 425,816人<74.3%>／② 開示を希望しない者 147,528人<25.7%>

注1. 都道府県別を除く()内は、24年データ及び24年対比の増減、等。

注2. < >内は構成比率。

注3. 「高認」は高等学校卒業程度認定試験の略。

【特記】

① 志願者数

25年センター試験志願者数が2年ぶりに前年より1万7,807人(前年比3.2%)増の57万3,344人になった主な要因としては、次のような点が挙げられる。

- 25年の18歳人口・高卒者数はともに3年ぶりに3%以上の大幅な増加が見込まれ、高卒者数は24年より約3万4,000人増の約109万人が予測される(旺文社推定、通信制課程含まず)。
- 大学への現役志願率は23・24年の2年連続低下したが、25年は女子の大学進学志望の一層の高まりなどから、再び上昇に転じることも予測される。
- 私立大センター試験利用入試志願者の拡大、高校でのセンター試験受験の進学指導の拡大などが想定されるほか、高校理数科・総合学科など志願者層の拡大がみられる。

なお、25年のセンター試験利用大学・短大は、公立2大学・私立7大学増の国公立683大学／公立1短大減・私立3短大減の157公私立短大である。

② 現役志願率

平成2(1990)年のセンター試験開始以来、毎年、上昇の一途をたどっていたセンター試験の現役志願率は、23・24年とも同率で“停滞状態”であった(平成2年15.0% → 23年41.6% → 24年41.6%)。

25年は前述のようなセンター試験志願者の拡大などで、過去最高の42.1%に達した。

③ 現役生、既卒者の志願者数

- 現役生は20年に減少したが、21～23年と3年連続で増加し、24年は4年ぶりに減少した。

しかし、25年は高卒者数の3年ぶりの増加に加え、センター試験志願者の拡大などから、現役生は2年ぶりに前年より2万153人(4.6%)増の45万9,866人だった。

- 一方、既卒者は16年以降、21年まで6年連続減少していたが、22年に7年ぶりの増加に転じ、23年も22年より3.3%の大幅増で2年連続の増加であった。

しかし、24年は3年ぶりの減少となり、25年も前年より2,039人(1.9%)減の10万7,709人で、2年連続の減少となった。

④ 高校の学科別でみた出願状況

志願者のほとんどを占める普通科の志願者数(現役・既卒含む。以下、同)は前年より1万6,681人(3.3%)増の52万2,939人(構成比率92.1%)で、全体の増加率とほぼ同じである。

その一方で、総合学科の志願者数(1万1,224人、構成比2.0%)の5.9%増、理数科の志願者数(1万2,197人、同2.1%)の4.5%増が目立つ。

普通科だけでなく、総合学科や理数科など、高校教育の多様化による志願者層の広がりがうかがえる。

⑤ 都道府県別でみた主な出願状況

- * 志願者数: 東京が6万9,337人で例年どおり突出していて、これに愛知(3万8,562人)、

神奈川(3万4,871人)、大阪(3万1,224人)、埼玉(2万9,821人)、兵庫(2万4,862人)、千葉(2万4,701人)、福岡(2万4,044人)と、24年と同様の顔ぶれが続く。

志願者数が前年比3.2%増加したのを反映し、44都道府県(全体の93.6%)で増加。特に増加人数の多かったのは、東京(2,694人増)、大阪(1,819人増)、神奈川(1,721人増)、愛知(1,336人増)、千葉(1,059人増)、埼玉(1,009人増)など、大都市圏が目立つ。

一方、減少したのは、島根(220人減)、山形(184人減)、徳島(32人減)の3県である。

＊現役志願率：24年まで9年連続首位をキープしていた富山(現役志願率51.3%)が後退し、東京(同52.7%)が首位に立ったことが注目される。2位広島(同51.9%)・愛知(同51.9%)以下、富山、石川、山梨、群馬、島根、福岡と、45%以上の高率が続いている。

⑥ 「2教科以下」志願者の増加

「2教科以下」志願者は、前年より1,856人(11.6%)増の1万7,850人で、全志願者に占める割合も前年より0.2ポイント上回る3.1%である。

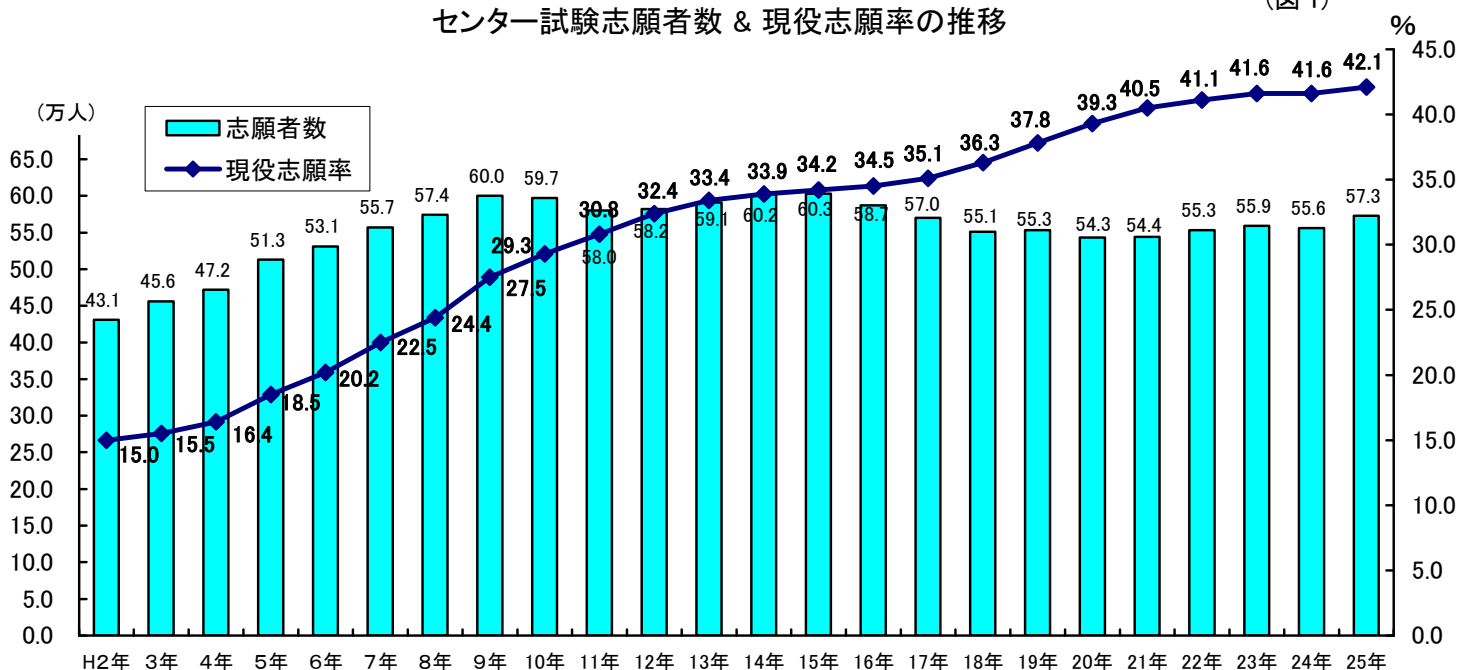
これは、主に次のような点に起因しているとみられる。

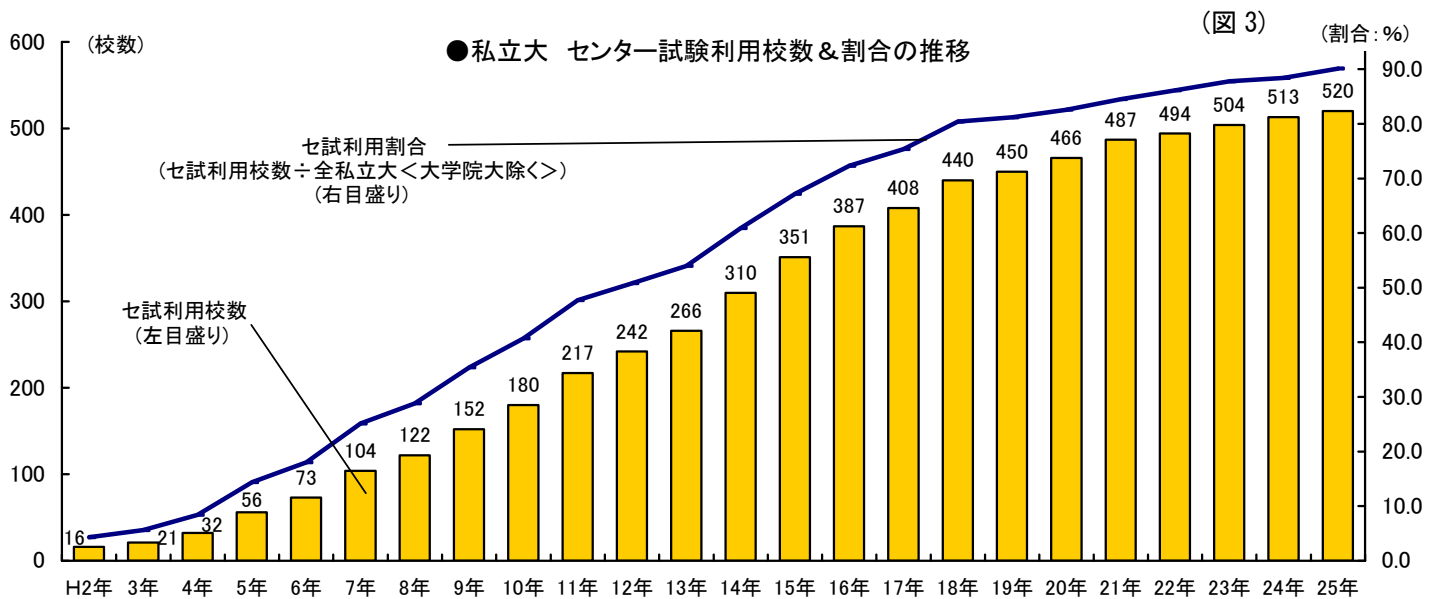
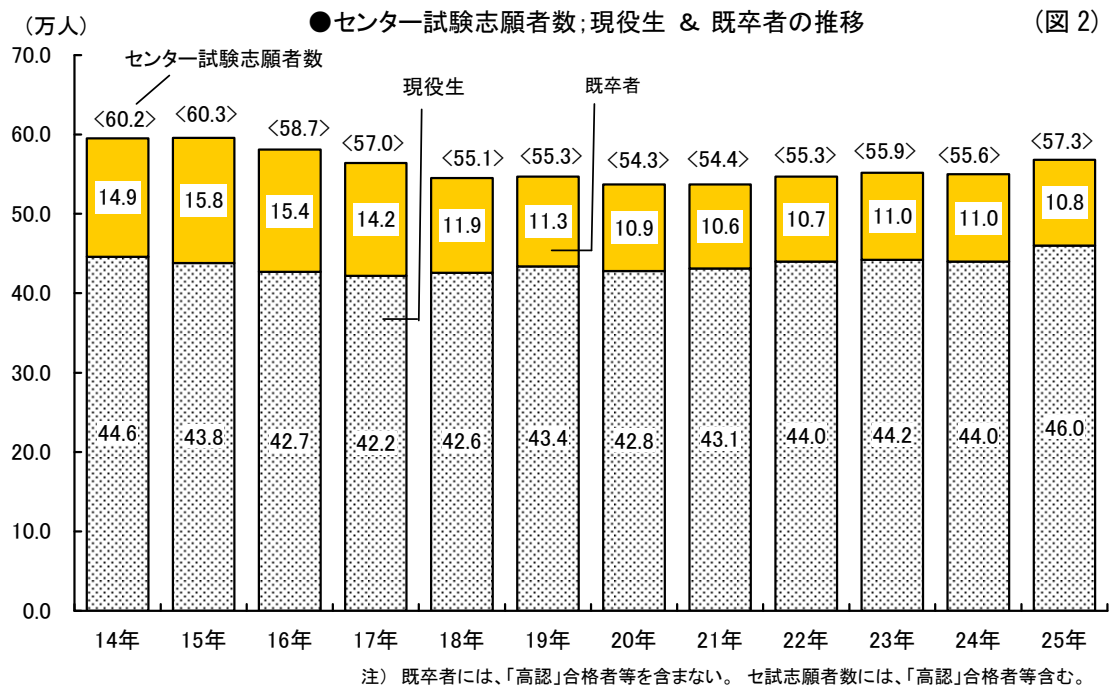
- 25年は地歴と公民の問題冊子の“パッケージ化”によって、「事前登録」と「検定料」の扱いが地歴と公民を合わせて“1教科”扱いになる。
- 上記のような試験実施上の変更に加え、私立大センター試験利用の地歴、公民、理科における2科目受験での“高得点利用”を視野に入れた私立大専願組の出願増など。

⑦ 「追試験」の実施

「本試験」の1週間後、25年1月26日・27日に東日本地区(東京海洋大)と西日本地区(京都教育大)の2会場で実施される。

センター試験志願者数 & 現役志願率の推移 (図1)





☆ 次ページに、「都道府県別 センター試験現役志願率 推移」の一覧を掲載。 ☆

●都道府県別 センター試験現役志願率 推移

	25年	24年	23年	22年	21年	20年	19年	2年
1 北海道	33.0%	32.9%	32.9%	32.1%	31.3%	29.6%	27.6%	13.4%
2 青森	34.2%	33.7%	32.8%	32.8%	32.1%	31.9%	30.5%	14.5%
3 岩手	41.0%	41.7%	40.7%	39.3%	39.7%	37.3%	36.9%	15.8%
4 宮城	37.1%	35.3%	33.9%	33.7%	32.6%	31.0%	29.7%	11.7%
5 秋田	39.8%	40.1%	39.9%	39.4%	37.5%	35.8%	34.2%	13.9%
6 山形	37.0%	39.9%	38.7%	38.7%	38.3%	36.9%	35.5%	16.5%
7 福島	33.6%	31.9%	32.3%	32.2%	32.0%	29.7%	28.6%	12.7%
8 茨城	43.2%	42.9%	41.9%	43.2%	42.7%	40.1%	37.6%	11.9%
9 栃木	43.6%	43.3%	44.8%	44.1%	42.6%	41.4%	39.6%	13.1%
10 群馬	45.7%	45.7%	44.6%	44.4%	44.5%	43.6%	41.7%	13.9%
11 埼玉	42.6%	41.9%	42.6%	42.2%	41.2%	39.9%	38.5%	9.4%
12 千葉	39.7%	39.2%	39.5%	39.7%	39.0%	37.9%	36.0%	9.7%
13 東京	52.7%	51.3%	50.8%	48.8%	48.3%	46.9%	44.1%	11.8%
14 神奈川	42.6%	41.7%	41.5%	40.9%	40.2%	39.5%	37.7%	10.4%
15 新潟	43.5%	42.9%	42.6%	41.4%	42.2%	39.2%	38.9%	12.5%
16 富山	51.3%	51.7%	52.1%	50.8%	50.8%	50.3%	49.5%	27.7%
17 石川	48.6%	46.7%	48.0%	48.5%	47.5%	46.1%	45.0%	19.6%
18 福井	43.6%	43.5%	44.4%	45.4%	43.2%	44.7%	43.4%	22.7%
19 山梨	47.7%	48.4%	48.4%	48.2%	48.6%	45.6%	44.1%	13.8%
20 長野	42.8%	44.6%	44.0%	42.9%	42.1%	41.0%	39.0%	12.8%
21 岐阜	41.6%	40.0%	40.9%	40.7%	39.5%	40.1%	37.8%	18.3%
22 静岡	44.4%	44.6%	43.9%	43.8%	42.4%	41.4%	41.0%	13.8%
23 愛知	51.9%	51.4%	51.1%	50.5%	49.8%	48.6%	47.5%	21.2%
24 三重	40.1%	40.3%	41.0%	40.6%	39.1%	38.0%	37.7%	14.6%
25 滋賀	39.9%	39.8%	39.7%	40.4%	41.0%	39.8%	39.2%	12.8%
26 京都	34.7%	35.5%	36.0%	36.7%	36.4%	35.5%	35.3%	12.8%
27 大阪	32.5%	31.2%	31.7%	31.5%	31.8%	31.2%	30.5%	11.9%
28 兵庫	43.4%	43.1%	43.4%	43.0%	42.8%	42.0%	40.5%	16.4%
29 奈良	44.0%	43.1%	42.2%	43.9%	43.8%	42.0%	41.0%	15.5%
30 和歌山	33.2%	33.9%	34.4%	33.6%	34.1%	33.4%	32.6%	11.8%
31 鳥取	42.9%	43.2%	43.5%	42.9%	40.8%	39.3%	38.5%	21.2%
32 島根	45.7%	48.3%	46.4%	47.7%	44.7%	44.0%	43.3%	22.9%
33 岡山	41.3%	40.5%	40.2%	40.4%	39.8%	39.5%	38.6%	25.7%
34 広島	51.9%	51.6%	52.0%	50.3%	49.9%	49.3%	47.9%	17.6%
35 山口	37.4%	37.2%	37.4%	37.3%	35.8%	34.7%	34.5%	19.1%
36 徳島	44.1%	44.0%	46.3%	44.9%	44.3%	42.5%	40.2%	22.1%
37 香川	40.1%	40.4%	40.8%	41.7%	40.8%	40.8%	39.3%	20.9%
38 愛媛	43.4%	42.9%	43.1%	43.5%	43.0%	40.7%	40.7%	22.5%
39 高知	37.4%	36.4%	37.2%	35.7%	33.4%	34.4%	32.8%	14.4%
40 福岡	45.0%	44.8%	45.9%	44.3%	43.5%	41.6%	39.6%	19.3%
41 佐賀	41.4%	40.7%	40.3%	41.1%	41.2%	39.7%	38.8%	18.7%
42 長崎	38.6%	37.6%	37.8%	38.1%	36.5%	35.1%	34.0%	24.3%
43 熊本	36.1%	35.9%	35.9%	35.5%	34.0%	33.6%	31.4%	17.0%
44 大分	34.0%	33.4%	33.7%	34.5%	34.8%	33.0%	31.3%	22.6%
45 宮崎	37.9%	38.4%	38.3%	39.0%	38.8%	37.6%	36.4%	25.7%
46 鹿児島	37.6%	37.0%	37.3%	36.7%	35.9%	35.7%	33.8%	22.3%
47 沖縄	27.2%	27.8%	26.9%	24.6%	24.1%	24.5%	23.2%	14.9%
全国	42.1%	41.6%	41.6%	41.1%	40.5%	39.3%	37.8%	15.0%

- 注. ① 大学入試センター発表資料・文科省『学校基本調査』(24・25年＝速報値／それ以外＝確定値)より算出。
 ② 現役志願率＝高等学校等新規卒業者における、セ試験志願者の割合。
 ③ 25年は卒業見込者(高等学校全日制3年・定時制4年、中等教育学校後期課程3年の在学者数計)。
 ④ 2年はセンター試験初年度の値。